



学校田で稲刈りする児童たち

学校田で秋を刈る

藻川小学校

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

米の収穫期を迎え、藻川小学校(山脇薫校長・児童数百十六人)では九月二十一日、学校田の稲刈りが行われました。

同校では七年前からPTAの協力で、子供達に勤勞の尊さと収穫の喜びを味わせる学校田づくりに取り組んでいます。

この日は、四年生以上の高学年児童五十五人が、学校田の地主でもある佐藤修一同校PTA会長(36)らPTAのお母さんたちのコーチで、昔ながらのカマを使って四アールの稲を刈り取りました。

この日収穫した約三俵のもち米は十月月上旬に予定されている「校内もちつき大会」で、お汁粉にして食べることになっています。



市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和62年
 №.649

わたしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

10-15

表彰式

地域振興に貢献

新谷伊太郎氏ら7氏



市褒賞表彰式

市では市制施行記念日の十月一日、市内大町のレス
トラン藤吉郎で昭和六十二年度市褒賞の表彰式を行い、
新谷伊太郎さんら七氏に市褒賞を贈りました。
表彰式には、森田市長をはじめ受賞者、来賓など約
八十人が出席。

君が代斉唱の後、森田市長が受賞者一人ひとりに褒



鈴木太左衛門氏(72)

梅田字薄井三七番地

教育の振興発展に貢献
教育界にあつて子弟の教育と後進の指導に精励され
るとともに、五所川原市教育長として卓越した識見を
もって教育の振興発展に貢献。



小山田鳳隆氏(74)

末広町一四番地一

福祉の増進と民生安定に貢献
社会福祉団体の役員として活躍されるとともに、五
所川原市民生児童委員連絡協議会会長として福祉の増
進と民生安定に貢献。



新谷伊太郎氏(83)

前田野目字鞠ノ沢四八番地三

森林事業の発展に尽力
前田野目地区共用林野組合長として森林事業の発展
に尽力されるとともに、地域社会の振興をとおして市
政進展に貢献。

昭和62年度

賞 褒 市



状と褒章を贈り、「受賞者のみなさんには、今後とも市勢発展のためにお力添えを賜りますよう健康に留意されご活躍くださるようお願いいたします」と式辞を述べました。

引き続き、川浪直治市議会議長と川村礼一郎市表彰推せん委員会副会長が祝辞を、また受賞者を代表して新谷伊太郎さんが「今回の受賞を契機に一層精進し、郷土発展のために努力したい」とお礼のことは述べました。

今年度受賞された方々は次のとおりです。

明るい地域社会の建設に貢献

小山内 修 導氏(67)

川端町一〇番地

幼児教育に尽力されるとともに、五所川原地区保護司会会長として浄化運動に献身され明るい地域社会の建設に貢献。

地域経済の活性化と雇用促進に貢献

春 藤 正 志氏(66)

本町六八番地

旺盛なる研究心をもって青森ヒバ材の研究開発にあたり地場産業振興の魁として活躍され、地域経済の活性化と雇用促進に貢献。

市勢の進展に貢献

佐々木 啓 二氏(63)

松島町七丁目九番地

卓越した識見をもって民営鉄道事業をはじめ多くの企業に参画し地域経済の発展に尽力されるとともに、県議会議員として市勢の進展に貢献。

明るい地域社会の建設に貢献

荒 谷 きくゑ氏(57)

湊字千鳥九〇番地

養護老人ホーム「くるみ園」等においてたゆまぬボランティア精神をもって奉仕活動を続けられ、明るい地域社会の建設に貢献。

三好地区農産物

加工センター

建築工事に着工

市では十月三日、三好地区農産物加工センター建築工事の安全祈願祭を同センター建築現場(藻川字中島二一)で行いました。

同センターは、地区内で生産される大豆、野菜、もち米等を原材料に、豆腐、味噌、漬物、餅などの生産を行い、農家所得の向上、就労機会の確保による出稼の解消を図り、共同作業を通じて地域のコミュニティ

イ活動を推進することを目的としており、市内で五番目の加工センターとなります。

同センターは、木造平家建てで建築面積は百五十三・九平方メートル、総事業費は約三千五百万円を見込んでいます。

完成後は、三好地区むらづくり協議会(川浪長五郎会長)が主体となり管理運営にあたることになっています。

ます。

この日は森田市長、川浪市議会議長、川浪三好地区むらづくり協議会長など約二十人が出席して安全祈願祭を行い、十一月末完成に向けて着工しました。

安全祈願祭参列者



元気に演技する子どもたち

体力づくりの成果を披露

羽野木沢小で研究発表会

文部省の体力づくり推進校に指定されている羽野木沢小学校(阿部季弘校長・児童数百十一人)で九月二十八日、研究発表会が開かれ、県内外から関係者約二百五十人が参加し、同校の体力づくりの様子を熱心に見学していました。

体力づくり推進校の指定期間は三年で、同校は六十年度に指定を受け今年が最終年度です。

「自ら体を動かし、意欲

的に体力づくりに取り組む子どもの育成」を主題としたこの日の研究発表会は、全学年の業前活動で始まり、公開発表、業間活動、全体発表などが行われ、同校が今まで積み重ねてきた体力づくりの研究実践が披露されました。

発表にあたって阿部校長は「一人ひとりの子どもたちが体力づくりを自分のものとして受けとめ、進んで運動に親しみ、運動の楽し

さを味わうことができるようにと指導法を工夫してきました。

その結果、児童の体力も高まり、主体性も培われ、「自ら体力づくりに励む子ども」「最後までやりぬく子ども」に育ってきています」と語っていました。

同校では、これからも生涯にわたって体力づくりに取り組む児童の育成を目指して、さらに研究を進めていくことにしています。

研究発表会の開会式では、森田市長が来賓として出席し「来るべき世紀の主役となる子ども達が、やがて活躍するためには強い意志と体力が必要であり、この研究成果を大いに期待しています」とお祝いの言葉を述べました。

又、開会式終了後、島喜八先生(日本女子体育大学教授)の講演が行われ、参加者は熱心に聴き入っていました。

市町村別交通事故防止
コンクール実施中

■期間 昭和61年6月1日(月)～昭和62年11月30日(月)

●無免許、飲酒、暴走など無謀運転をしないこと、させないことが大切です。



高額寄付者などに

感謝状を贈る

市では十月一日、昨年九月から今年八月までの間に市教育振興会、市立図書館などへ高額の寄付をされた個人、団体に感謝状を贈りました。

付された方に対する感謝状の贈呈は、後日開かれる市社会福祉大会で行われる予定です。

受彰者は、次のとおりです。(敬称略)

産経会館で行った贈呈式には、森田市長をはじめ受彰者など約十五人が出席しました。

東北電力株式会社五所川原営業所(田町)
五所川原市学校薬剤師会(本町)
住友生命保険相互会社青森支社(青森市)
土岐文弘(野里)



式贈呈状感謝

工藤パン育英会(青森市)
江良力(昆沙門)
鈴木太左衛門(梅田)
東京ビルディング株式会社(東京都)

核兵器廃絶平和都市宣言を記念

100人参加して植樹祭

市では九月二十七日、飯詰山国有林地内にある「市民憩いの森林」で、核兵器廃絶平和都市宣言を記念する植樹祭を行いました。

この市民憩いの森林は、市が国有林野を活用して市民の森林レクリエーションの場をつくらうと、金木営林署などの関係機関や多くの市民の協力を得ながら、昭和五十九年度から整備を進めてきたものです。

この日は、時おり小雨の降るあいにくの天候でしたが、家族づれの市民や関係者約百人が参加しました。



参加者する植樹記念

最初に森田市長が「平和は祈るだけではなく行動が必要です。二十一世紀を担う子供たちのためにもまず植樹を市民のみならず行いたい」とあいさつを述べました。

引き続き、石岡裕市議会副議長、福永純久金木営林署長がそれぞれあいさつを述べた後、飯詰部分林組合員の指導を受け、参加者全員で約十アールに二百本の杉の苗木を植樹しました。

第七回市民秋まつり

民謡とジャズの集い

五所川原市観光協会(三上理会長)では九月二十日狼野長根公園で「第七回市民秋まつり」を開催しました。

秋まつりはこれまで、津軽民謡や登山ばやしなど昔からの出し物が多かったのですが、今年は新しい試みとして音楽グループに企画を依頼して、ジャズと津軽三味線の競演が実現しました。

この日は、民謡とジャズの音色が流れる中、集まった市民約五百人は思いおもいに弁当を広げるなどして初秋の一日を楽しんでいました。

「集い」は、劇団「雪の会」の野津こうへいさんの軽妙な司会で、第一部は五所川原民謡協会による民謡と手踊り、第二部はアマチュアバンドのジャズ演奏が行われました。



集いの民謡とジャズの評好

同協会では、これからもまつりの中に新しい試みを取り入れ、市民の皆さんに楽しんでいただくようにしたいと語っていました。



森田市長に寄付金を手渡す
佐々木さん

津鉄観光(株)代表取締役社長
の佐々木啓二さんは九月
二十一日、市役所を訪れ、
五所川原市教育振興会に三
十万円を寄付、森田市長に
手渡しました。
佐々木さんからの寄付は
今回で十回目となり、関係
者から大変感謝されていま
す。

津鉄観光の佐々木さん

教育振興会に30万円



秋晴れの中、親子登山

この日は、約八十人が参
加しましたが、好天に恵ま
れ山頂からは岩木山、津軽
半島、下北半島も望まれ、
参加者は快い汗を流して楽
しい一日を過ごしました。

親子登山教室 開かれる

市連合PTA、市教育委
員会主催の「親子登山教室」
が九月二十日、八甲田山大

岳で行われました。

これは、登山活動を通し
て自然に親しみ、親子のふ
れあいを深めるとともに、
友情と協力の精神を養い、
子どもたちの健全育成をは
かることを目的に開催され
たものです。

文化碑めぐり 参加者募集

市文化振興会議では、次により市内文
化碑めぐりを行います。

▷日時 11月4日 出発午後1時
帰着午後4時

▷集合場所 市中央公民館

▷参加料 無料(専用バス)

▷見学コース ①加藤東籬歌碑 ②和田
山蘭歌碑 ③上原げんと音楽碑 ④内
海草坡句碑 ⑤八木隆一郎歌碑 ⑥若
山牧水歌碑

訓練生募集

国立宮城身体障害者職業訓練校

▷応募資格 ①義務教育修了者又は、こ
れと同等以上の学力があると認められ
る身体障害者の方。

②身体障害の程度は、伝染性疾患、発
作性疾患及び症状の固定していない方
を除き1年間の訓練に耐えられる方。

▷募集科目 電子機器、洋裁、和裁、製
版印刷、製本、軽印刷、OA事務、義
肢装具、理容、経理事務、デザイン。

▷訓練期間 1か年(63年4月から64年
3月まで)

※詳しいことは、本校(〒983 仙台市台
原5丁目15番1号 ☎022(233)3124番)
へどうぞ。

市民総合文化祭

いよいよ文化祭の季節となりました。多種多彩な
発表会がありますので、ご家族おそろいでおいでく
ださい。

市文化振興会議

月 日	時 間	会 場	行 事	団 体 名
10月25日	10:00~16:00	市民文化会館	第27回県下俳句大会	五所川原俳句会
	9:00~16:00	中央公民館	第24回県下川柳大会	川柳岩木吟社
10月30日 ~11月3日	9:00~16:00	中央公民館	菊花展示会	五所川原晚香会
11月1日 ~ 11月3日	9:00~16:00	中央公民館	盆景展示会	五所川原盆景会
			盆栽展示会	五所川原盆栽会
			老人クラブ趣味の作 品展示会	五所川原市老人ク ラブ連合会
			紙細工作品展示会	紙細工研究会
			絵画展示会	光彩会
			ちぎり絵作品展示会	和紙ちぎり絵貴装
	10:00~15:00		市民茶会	茶道江戸千家
11月2日 ~ 11月3日	9:00~16:00	中央公民館	書道展示会	五所川原書道会
			絵画展示会	チャーチル会
			木彫作品展示会	木彫の会
			染色作品展示会	染色研究会
11月3日	10:00~15:00	中央公民館	簪作品展示会	簪手芸趣味の会
			華道展示会	華道遠州流
				華道小原流
				華道龍生派
11月3日	10:00~15:00	中央公民館	市民茶会	茶道表千家
				茶道裏千家
				茶道遠州流
				煎茶道方円流
11月3日	10:00~11:10	中央公民館	箏曲(琴)発表会	松葉会
	11:10~11:40		民謡発表会	五所川原民謡協会
	13:00~14:00		津軽三味線発表会	津軽三味線滝栄会
	14:10~15:10		詩吟発表会	五所川原吟詠会
	15:20~16:20		詩吟発表会	吼山流詩吟道
	19:00~21:00		謡曲大会	五所川原宝生会
11月8日	9:00~16:00	中央公民館	第27回県下短歌大会	五所川原短歌会
			植物研究発表会	津軽植物の会

きのことりは事故なく楽しく

きのこりのシーズンとなりましたが、毎年遭難事故が発生しています。

遭難事故が発生しますと、多くの人に迷惑をかけるほか、捜索の費用も本人や家族が負担しなければなりません。

山に入るときは次のことがらに注意しましょう。

〈入山心得〉

- ▷ 天気予報をよく確かめる。
- ▷ 簡易雨衣、マッチのほか食糧を多めに持つ。
- ▷ 家族などに、山のコース、帰宅時間、同行者などを知らせておく。
- ▷ 地理のわからない山には入らない。
- ▷ 自分の体力に合った行動をする。
- ▷ 団体の時は、集合時間、場所、コース等をよく打ち合わせ、必ず守るようにする。
- ▷ 山に入ったら、お互いに呼びあって、位置を連絡しあう。
- ▷ 天候が悪くなりそうなときは、早くきりあげる。
- ▷ 道に迷ったら無理をせずに、小枝を燃やすなどして、救助隊に知らせる方法をとる。
- ▷ 帰宅予定時刻を過ぎても帰らないときは、警察に知らせる。

県信用保証協会からのお知らせ

長期経営資金保証(愛称「やくしん」)

この制度は、堅実な経営を営み、長期的な展望をもつ県内中小企業者の長期資金の需要に応えることを目的として、保証期間を最高20年(運転資金15年)とより効果的な長期資金導入がはかれるようにし、保証料も年率0.85%とご利用しやすくなっております。

詳しくは、県信用保証協会五所川原支所(☎③⑤ 4 1 2 1 番)または金融機関各支店までお問い合わせください。

昭和63年度一農業用免税軽油 免税証交付申請の受付

▷ 日時 11月20日

▷ 場所 県五所川原合同庁舎(栄町)

▷ 申請書用紙 県税事務所、農協、軽油販売店にあります。

※詳しくは、五所川原県税事務所間税課(☎③④ 2 1 1 1 番内線 2 0 7・2 0 8 番)へどうぞ。

10月は国民年金制度推進月間です

国民年金は、国が責任を持って運営する公的年金制度であり、老齢、障害、死亡について、すべての国民に共通の「基礎年金」を支給することを目的とした制度であります。

また、これら基礎年金の給付に要する費用は、国民みんなが公平に負担する仕組みになっています。

県内では、厚生年金および共済年金の加入者を除いて、現在46万人が加入し、万一の事故や老後の生活に備えています。

受給者数も19万6千人となり、昨年度の年金支給総額は685億円に達しています。

このように、すっかり定着してきた国民年金ではありますが、まだ掛け忘れのために年金を受けられず困っている方もいます。

10月は国民年金制度の推進月間として、制度に対する正しいご理解とご協力を積極的に求めることとしております。

この機会に、あなたご自身の国民年金をもう一度点検してください。

県最低賃金改定

青森労働基準局

最低賃金額 1日3,323円

賃金の大部分が時間によって定められている人(時間給者)については

..... 1時間 416円

実施月日 10月10日

ただし、次に掲げる賃金は、最低賃金の算定には含まれません。

除外賃金

- (1)精皆勤手当、(2)通勤手当、(3)家族手当、(4)臨時に支払われる賃金、(5)1か月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与、期末手当など)、(6)時間外労働・休日労働に対して支払われる賃金及び深夜労働に対する割増部分の賃金

▷ 適用される範囲 産業や職種にかかわらず県内すべての事業場ではたらく常用・臨時・パートなどのすべての労働者と労働者を一人でも使用しているすべての使用者に適用されます。

第9回「ホームフェスティバル」

— 勤労青少年ホーム —

「ステップ・アップ」をテーマに下記のとおりホーム祭を開催します。

今年も盛りだくさんの作品展示や即売品を準備して、みなさんのおいでを待っています。

10月24日(土)

開会式(午後6時30分)

①吹奏楽コンサート(午後7時) ②ジャズダンス・少林寺拳法(午後7時30分) ③アトラクション(午後8時10分)

10月25日(日)

午前9時オープン

①作品展示 ②即売バザー(午前10時) ③野外模擬店(午前10時30分) ④お茶会(午前11時)

※問い合わせ先 勤労青少年ホーム(☎③43602番)へどうぞ。

第7回

少年の主張発表大会

少年たちが、家庭生活、学校生活、地域社会の場でのふれ合いの中から、日ごろ考えていることをとりまとめた提言や希望を発表するものです。

市民の皆さん、お誘い合わせてどうぞ。

▷日時 10月29日(木)午後1時から

▷場所 市働く婦人の家ホール

▷主催 市教育委員会
市学校警察連絡協議会
市青少年問題協議会

第6回

西北五福祉展

西北五地区の精神薄弱児(者)施設、身体障害者施設の入所者が、日ごろ訓練しながらつくりあげた作品をととして、地域のみなさんに理解していただくことを目的に開催します。

市民のみなさんのご来場をお待ちしています。

▷日時 10月17日(土)から18日(日)まで

▷場所 中三デパート五所川原店5階催事場

▷展示・即売品 手芸品、木工品、農産物、手づくりハム、椎茸、陶器等

主催 青松園、月見野園、サントピアホーム、森田学園、内湯療護園

児童福祉セミナーの開催について

青森県弘前児童相談所

近年、児童の健全育成上、いじめ問題の発生とその対策、障害をもつ児童の養育などがしばしば取り上げられ、それらの早期対応の必要性が増大してきています。

このため、地域の方々の児童福祉に対する理解を深めるとともに、直接児童に関係した相談を受けることを目的に実施するものです。

▷対象 児童福祉に関心のある方、関係のある方、児童の相談をしたい方はどなたでも参加できます。

▷日程

	第1回 11月10日	第2回 11月11日
時 間	講師及びテーマ	講師及びテーマ
13:00 }	開講のあいさつ 五所川原市福祉 事務所長	「こどものこころ」 弘前児童相談所 心理判定員
14:00	「最近の児童をとり まく情勢」 弘前児童相談所 成田 真	高橋 紀男
14:00 }	「こどもの精神医学」 弘前大学医学部 附属病院精神科医	「児童相談所の相談 活動」 弘前児童相談所 業務課長
15:00	本間 博彰	板垣 肇 児童福祉司 山谷 文子
15:00 ~16:00	質問・相談(個別相談にも応じます)	

▷場所 市民文化会館2階

▷受講料 無料

▷申し込み先及びお問い合わせ先

五所川原福祉事務所(☎③2111番内線243番)へ10月31日までに申し込みください。

「交通安全おやこ ウォークラリー」

▷日時 10月18日(日)市庁舎前お祭り広場を
午後0時30分スタート

これは、親子が協力し合ってラジオの交通安全クイズに挑戦し、市内に設けた数か所のポイントを廻って、最後はお祭り広場(雨天の場合は市民文化会館)にゴールするウォークラリーで、県内初の試みです。

なお、このラリーの状況は午後2時30分からRABラジオで生中継されます。市民多数のご観戦をお願いします。

◎主催 五所川原地区安全運転管理事業主会
五所川原地区安全運転管理者協会